

議題提案書

【 】 協議事項

【●】 報告事項

議題名：G7 伊勢志摩サミットに関する市民社会の活動**【提案者氏名、所属】**

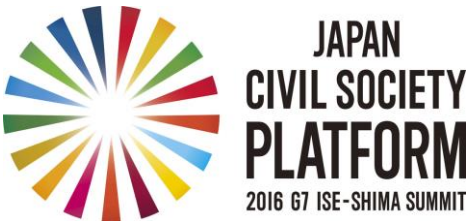
氏名：堀内 葵

所属：2016 年 G7 サミット市民社会プラットフォーム 共同事務局

【議題提案の背景説明】

G7 伊勢志摩サミットに向けた市民社会の連合体である「2016 年 G7 サミット市民社会プラットフォーム」は、2015 年 11 月の設立以来、NGO・市民社会がサミットに向けて政策提言を行なう窓口となり、国内外の NGO をつなぐ役割を果たし、政府やメディアに対する情報発信する機能を担ってきた。本プラットフォームの活動を振り返り、その成果と課題を報告する。

【議題趣旨】**1. 組織概要**

共同代表	石井澄江（G7 保健 NGO ワーキンググループ/ジョイセフ 代表理事） 西井和裕（名古屋 NGO センター 理事長）
参加団体	63 団体（2016 年 6 月 14 日現在）
共同事務局	動く→動かす 特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター（JANIC）
活動内容	1. 開催国・日本の市民社会として、サミットや関連会合の情報を広く日本・世界の市民社会に伝える。また、日本政府・G7 諸国政府や関連機関と各国市民社会との対話や政策提言の場を設置する。 2. サミットや関連閣僚会合に向け、民間やアカデミアなどとのセクターを超えた連携を促進する。 3. 海外の市民社会との連絡・調整・必要な情報提供を行う。
URL	http://cso-g7-ise-shima-summit2016.blogspot.jp/
ロゴ	

2. 活動実績

時期	内容
2015 年 11 月	設立総会を開催
12 月	東京にて NGO 国際準備会議をおよび設立記念イベント開催、長嶺安政・外務審議官（シェルパ）にご挨拶いただく
2016 年 1 月	東海「市民サミット」ネットワークとの連携を開始
2 月	ローマにて NGO 国際戦略会議を開催
3 月	京都にてシンポジウム「G7 伊勢志摩サミットの主要論点—国際開発の新しい潮流を踏まえて」を国際開発学会社会連携委員会・JASID 塾などと共催 京都にて「Civil G7 対話」を開催、G7 シェルパと NGO の対話を実施 国際メディアセンターへの NGO 登録作業を代行実施
4 月	東京・大阪での事前勉強会に協力 宇山智哉・経済局参事官（サブシェルパ）との意見交換会を実施
5 月	G7 富山環境大臣会合に合わせた「環境市民フォーラム」に協力 日本記者クラブでの動く→動かすなどの記者会見に協力 三重大学での「G7 ユースサミット」に協力 四日市にて「市民の伊勢志摩サミット」を、東海「市民サミット」ネットワークと共催 国際メディアセンター・NGO ワーキング・スペースにて記者会見を実施
6 月	東京にて報告会を開催予定

3. 国際メディアセンターでの活動および G7 伊勢志摩サミットへの評価

サミット期間中、三重県営サンアリーナに設置された「国際メディアセンター」には、国内外合わせて 55 団体 101 名の NGO が参加登録し、記者会見やブリーフィング、各種展示やパフォーマンスを行った。

5/25-27 の 3 日間、国際メディアセンターの NGO ワーキング・スペースにおける記者会見の数は合計 21 におよび、気候変動、国際保健、シリア難民、防災・減災、平和構築、タックスヘイブン、ユース、教育などの課題について、記者向けのブリーフィングを行った。また、「SDGs 達成に向けた 17 人 18 脚」、「UHC（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ）スーパーヒーロー」、「ホームレス・ベッド展示」、「今日の一文字『書道パフォーマンス』」と合わせて、多くのメディアの取材を受け、記事が配信された。

サミット最終日の 5/27 には首脳宣言について SDGs や保健、気候変動、女性、難民など 12 項目について NGO が 5 段階評価を行い、記者会見を行った。12 項目の平均点数は「2.25」であり、最高でも「3」、最低は「0」であった。

「G7 伊勢志摩宣言」は過去の首脳宣言に比べて著しく分量が多いにも関わらず、「持続可能な開発目標」（SDGs）で掲げられた「持続可能な世界」の実現という、G7 が本腰を入れて取り組まなければならない課題について、具体的なコミットメントがなく、資金拠出も表明しないなど、G7 への期待は「地」に落ちた、と言える。

一方、NGO はこの「地」にしっかりと足をつけて、そこを新たな出発点に、地域や地球規模の課題に改めて取り組んでいく覚悟を表す「今日の一文字」として「地」を発表した。

詳細は別紙プレスリリースを参照のこと。

4. 国際メディアセンターにて発生した諸課題への対処に関する要望

市民社会からの要請に応え、その参画を保障した外務省、様々な限界や課題のある中で市民社会の各種の要請の実現に積極的に取り組んだサミット準備事務局サイドイベント班に心より感謝する。そのうえで、以下の事項を提起する。

- (1) 国際メディアセンターのメディア向け案内図に「NGO ワーキング・スペース」の表示がなかった問題
- (2) 情報発信の手段が限られていた問題
- (3) NGO ワーキング・スペースと IMC の間の警備ラインの問題

詳細は別紙要望書を参照のこと。

5. 報道採録

サミット期間中に掲載された NGO の活動に関する主な記事を紹介する。

▼ 17 人 18 脚で「持続可能な開発目標実現を」 サミット

2016 年 5 月 25 日 朝日新聞

<http://www.asahi.com/articles/ASJ5T4W03J5TOIPE028.html>

▼伊勢志摩サミット 一文字で表現するなら NGO 企画

2016 年 5 月 25 日 毎日新聞

<http://mainichi.jp/articles/20160525/k00/00e/040/225000c>

▼伊勢志摩に“スーパーヒーロー”登場

2016.5.25 産経フォト

<http://www.sankei.com/photo/daily/news/160525/dly1605250031-n1.html>

▼これが世界一寝心地悪いベッド サミットにあわせ展示

2016 年 5 月 25 日 朝日新聞

<http://digital.asahi.com/articles/ASJ5T3TFZJ5TOIPE015.html>

▼SDGs 実現へ 17 人 18 脚 NGO / 三重

2016 年 5 月 26 日 毎日新聞

<http://mainichi.jp/articles/20160526/ddl/k24/010/129000c>

▼7 首脳がヒーローに NGO がユニーク展示

2016 年 5 月 27 日 中日新聞

<http://www.chunichi.co.jp/article/feature/iseshimasummit/list/CK2016052702000235.html>

▼国際メディアセンターの隣で書道のパフォーマンス

2016 年 5 月 27 日 Viewpoint

<http://vpoint.jp/photonews/65815.html>

▼NGO、温暖化対策対応に厳しい評価

2016 年 5 月 27 日 毎日新聞

<http://mainichi.jp/articles/20160528/k00/00m/040/099000c>

▼伊勢志摩サミット首脳宣言は「落第点」 NGO関係者ら

2016 年 5 月 27 日 朝日新聞

<http://www.asahi.com/articles/ASJ5W5HZ9J5WOIPE024.html>

▼閉幕 宣言、NGO低評価 市民の声、届かず 政策提言力向上誓う

2016 年 5 月 28 日 毎日新聞

<http://mainichi.jp/articles/20160528/ddq/041/010/004000c>

▼専門家の評価、厳しめ サミット首脳宣言

2016 年 5 月 29 日 中日新聞

<http://www.chunichi.co.jp/article/feature/iseshimasummit/list/CK2016052902100012.html>

▼サミットを「市民」も議論、評価。NGOら連日記者会見 書道パフォーマンスも

2016 年 5 月 30 日 日刊工業新聞

<http://newswitch.jp/p/4828>

▼日本の貧困対策「周回遅れ」が伊勢志摩サミットで発覚

2016 年 6 月 3 日 Diamond Online

<http://diamond.jp/articles/-/92389>

【外務省への事前質問】

特になし

【出席を希望する外務省部局または担当者】

経済局 政策課

サミット準備事務局

国際協力局 民間援助連携室

以上